

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	音楽の持つ構造や歴史的要素と音楽の多様性について理解を深められる。	社会の中に存在する音楽の多様性を享受できるようになる。	音楽を評価しながら、良さや美しさを深く味わうことが出来る。	音楽に対して創意工夫を生かした音楽表現ができるようになる。	音楽に対して幅広い見方が出来るようになる。	音楽に対して良さや美しさを味わえるようになる。	音楽に対してより豊かな表現ができるようになる。
評価の観点 の趣旨	音楽の諸要素を理解し音楽活動が出来る。 音楽への関心・意欲・態度が備わっている。		音楽の諸要素を自己のイメージを持って感受し音楽活動が出来る。 主体的協働的に音楽の幅広い活動に取り組み表現している。		自ら主体的に音楽的な見方・考え方を働かせて音楽活動に取り組んでいる。 他の表現や言語活動に対して耳を傾けて受容し、自己表現の参考としている。 生涯に渡り音楽を愛好する心情を育みながら音楽活動をしている。		
評価の方法	実技努力度テスト 定期考査	プリント提出	定期考査 ワークシート	実技努力度テスト ワークシート	毎時間の授業への取組の 観察	他者の表現等に対しての 鑑賞態度の観察	毎時間の授業への取組度の 観察

年間計画

単元	学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
表現／歌唱 鑑賞	・リエンテーション（学習内容と授業ルール） ・自然な姿勢と豊かな発声 ・曲想と歌詞との関わり ・声楽アンサンブルと合唱	20	【理解・分析・表現・関心・向上】 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能。アカペラの取組み。 ・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫できる能力。	【思考・判断・表現 学びに向かう力】 ・音楽を形づくっている要素や関連事項を知覚し、それらを感じながら音楽活動に取り組んでいる。
表現／歌唱 楽典 鑑賞	・楽譜と音符の理解 ・様々な音楽形態と歌唱表現 ・様々な音楽と、文化的歴史的背景との関わり ・世界の音楽から ・音楽著作権について	25	【理解・分析・表現・関心】 ・音楽形態にふさわしい発声、言葉の発音、表現方法の能力。 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的歴史的背景との関わりを理解できる資質。 ・音楽に関する著作権を学習し、社会と音楽に関する諸問題を理解解決できる資質と能力。	【知識・理解 思考・判断・表現】 ・音楽を形づくっている要素や用語記号を理解し、音楽における働きと関わって音楽活動をしている。 ・曲想や表現上の効果と音楽構造との関わりを理解し、さらに、他の様々な芸術との関わりながら、自己の音楽表現活動に取り組んでいる。
表現／合唱	音楽祭への取り組み（合唱表現活動）	8	【理解・分析・表現・関心・受容】 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能。 ・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫できる能力。	【思考・判断・表現 学びに向かう力人間性】 ・曲想や表現上の効果と音楽構造との関わりを理解し、さらに、他の様々な芸術との関わりながら、自己の音楽表現活動に取り組んでいる。
表現／器楽 鑑賞	・日本の伝統音楽(三味線)を通した音楽表現と技能 ・三味線を通した音楽的知識と音楽の構造	15	【理解・分析・表現・関心】 ・器楽表現に関わる知識や技能を生かして、自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫する能力。 ・三味線を含めた日本の伝統音楽の特徴を理解して演奏表現する能力。	【知識・技能 思考・判断・表現】 ・音楽を形づくっている要素や関連事項を知覚し、それらを感じながら楽器の技能等を創意工夫して高めながら音楽活動に取り組んでいる。

備考

--